

## 2024 フクシマ連隊キャラバン報告書

自分はフクシマ連隊キャラバンで、様々な経験をする事ができました。フクシマ連隊キャラバンの茨城行動へ参加したことはありましたが、フクシマ行動からは初めての参加だったので、今までとは違う角度からフクシマの現状を学習ができました。

初日は、いわき市で集会に参加しました。原発事故から十年以上が経過しても、未だに苦しんでいる人がいるということをもっと多くの人に伝えていかなければいけないと感じました。

二日目は双葉町周辺を車で見ながら津波の被害の酷かった請戸地区へと行きました。前回見学に来た時よりも帰宅困難区域のバリケードや、立入禁止になっている区画は減っていましたが、それでも復興するまでにはまだまだ時間が必要だと感じました。その後に施設の見学で請戸小学校と伝承館へ行って、津波の恐ろしさ、原発による二次被害について学びました。津波被害の後に迅速に救助活動ができていれば救えた命もあったかもしれないと思うと悔しい気持ちになりました。

三日目には浪江町の山側の原発の被害が特に酷かった地域のフィールドワークを行い、避難勧告が出てそのままになっている家屋を見学しました。生活感はそのままだに荒れ果てていて、避難が解除されたからといってすぐに暮らしていくのはまず不可能だと思いました。

原発事故によりたくさんの方が不幸になり、それが今もなお続いているという現実があり、それをより多くの人に知ってもらえるように自分自身でもできることを少しずつでもやっていこうと思いました。

全港湾 東方地方ひたち支部青年女性部  
飯村 将弥